



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仙田 貞雄
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 境 克也 (TEL) 03-5437-8028
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	231,072	2.2	5,501	△62.1	6,056	△59.2	2,599	△76.0
27年3月期第2四半期	226,208	4.4	14,521	21.9	14,853	17.9	10,811	23.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 6,791百万円(△35.1%) 27年3月期第2四半期 10,471百万円(△40.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	4.55	—
27年3月期第2四半期	18.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	519,934	210,020	38.5	350.23
27年3月期	538,646	207,106	36.6	344.91

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 200,021百万円 27年3月期 196,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	△0.7	21,000	△34.0	18,000	△14.7	8,000	△53.6	14.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	572,966,166株	27年3月期	572,966,166株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,852,161株	27年3月期	1,842,579株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	571,117,882株	27年3月期2Q	571,130,609株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、海外の景気減速による輸出の伸び悩みや個人消費等の一部に弱さが見られるものの、円安や原油価格の下落を背景に企業業績は堅調に推移する等、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中国の景気減速や資源価格の下落に伴う新興国経済の低迷等により、世界経済の下振れリスクが懸念され、先行きについては不透明な状況が続いております。

こうした経済環境の中、当社グループの売上高は、第2四半期に入り非鉄金属価格が下落したものの、円安の影響により国内の亜鉛価格は上昇したことや北米市場において自動車用機能部品の需要が堅調に推移したこと等の影響により、前年同期比48億円(2.2%)増加の2,310億円となりました。

損益面では、円安効果による好転要因があったものの、非鉄金属価格の下落に伴うたな卸資産の在庫影響(以下「在庫要因」)等により、営業利益は前年同期比90億円(62.1%)減少の55億円となり、経常利益は前年同期比87億円(59.2%)減少の60億円となりました。

また、特別損益および税金費用、並びに非支配株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比82億円(76.0%)減少の25億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①機能材料

液晶パネル向け薄膜材料等の需要は堅調に推移しましたが、電池材料や電解銅箔は主要顧客の生産調整等により需要が低迷したことから、当セグメントの売上高は前年同期比41億円(5.4%)減少の735億円となりました。加えて、インジウム価格の下落に伴う薄膜材料の在庫要因やマレーシアリングット安の進行に伴う一過性の損失等の影響により、経常損益は79億円減少し1億円の損失となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

電解銅箔(当第2四半期連結累計期間の生産量15千t)

②金属

円安の影響等により、当セグメントの売上高は前年同期比62億円(9.9%)増加の699億円となりました。経常利益は、円安効果による好転要因があるものの、第2四半期に入り亜鉛価格の急落に伴う在庫要因の影響等があったことから16億円(32.8%)減少の32億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

亜鉛(当第2四半期連結累計期間の生産量104千t<共同製錬については当社シェア分>)

鉛(当第2四半期連結累計期間の生産量33千t)

③自動車機器

ドアロック等の自動車用機能部品の需要は、米国経済の回復基調を背景に北米市場において堅調に推移しました。当セグメントの売上高は前年同期比38億円(7.6%)増加の551億円、経常利益は、前年同期並みの20億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

自動車用機能部品(当第2四半期連結累計期間の生産金額487億円)

④ 関連

エンジニアリング事業の完成工事高が減少したこと等により、当セグメントの売上高は前年同期比61億円(10.5%)減少の518億円となりましたが、経常利益は、その他各種製品の需要が総じて堅調に推移したことから、前年同期並みの12億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益62億円に、減価償却費123億円、たな卸資産の減少32億円、売上債権の減少125億円等の増加要因と、仕入債務の減少72億円、法人税等の支払い38億円等の減少要因を差し引いた結果、254億円のキャッシュの増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出110億円等により、93億円のキャッシュの減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの減少40億円及び長期借入金の返済による支出36億円等により、148億円のキャッシュの減少となりました。

以上の結果、為替換算差額を含めた現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ1億円増加の161億円となりました。

また、当第2四半期末の総資産は、たな卸資産や売掛債権の減少等があり、前連結会計年度末に比べ187億円減少の5,199億円となり、長・短借入金、社債及びコマーシャル・ペーパー残高は前連結会計年度末より113億円減少の1,989億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の業績予想につきましては、当第2四半期累計実績および第3・第4四半期の事業環境や為替・非鉄金属価格等の変動要因を勘案の上、平成27年10月28日にお知らせしております。

なお、セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(金額：百万円)

		平成27年 10月28日 予想(A)	平成27年 8月7日 予想(B)	増減金額 (A)-(B)	増減率 (%)
売上高	機能材料	146,400	158,100	△11,700	△7.4
	金属	139,300	147,200	△7,900	△5.4
	自動車機器	112,400	109,600	2,800	2.6
	関連	115,700	116,200	△500	△0.4
	消去又は全社	△43,800	△46,100	2,300	-
	合計	470,000	485,000	△15,000	△3.1
営業利益		21,000	36,000	△15,000	△41.7
経常利益	機能材料	3,700	13,400	△9,700	△72.4
	金属	5,200	12,300	△7,100	△57.7
	自動車機器	5,900	7,200	△1,300	△18.1
	関連	4,100	4,700	△600	△12.8
	消去又は全社	△900	△1,600	700	-
	合計	18,000	36,000	△18,000	△50.0
親会社株主に帰属する当期純利益		8,000	23,400	△15,400	△65.8

	4～9月 実績	10～3月 見込	10月28日予想 平均	(参考) 8月7日予想
為替(円/US\$)	122	120	121	120
亜鉛LME(\$/t)	2,019	1,900	1,960	2,200
鉛LME(\$/t)	1,830	1,800	1,815	2,100
銅LME(¢/lb)	256	230	243	270
インジウム(\$/kg)	434	300	367	650

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期

純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,404	16,301
受取手形及び売掛金	92,359	79,054
商品及び製品	27,035	25,939
仕掛品	30,754	28,124
原材料及び貯蔵品	34,683	34,554
繰延税金資産	5,451	3,793
その他	14,627	17,693
貸倒引当金	△162	△139
流動資産合計	221,153	205,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	162,995	165,776
減価償却累計額	△108,825	△110,493
建物及び構築物(純額)	54,170	55,282
機械装置及び運搬具	329,644	328,873
減価償却累計額	△274,499	△275,836
機械装置及び運搬具(純額)	55,145	53,036
鉱業用地	512	509
減価償却累計額	△236	△235
鉱業用地(純額)	275	274
土地	33,744	33,744
建設仮勘定	9,383	6,623
その他	56,198	57,531
減価償却累計額	△44,858	△46,075
その他(純額)	11,339	11,456
有形固定資産合計	164,058	160,417
無形固定資産	4,467	4,014
投資その他の資産		
投資有価証券	136,679	138,169
長期貸付金	550	538
繰延税金資産	2,268	2,157
退職給付に係る資産	4,071	4,581
その他	5,814	5,119
貸倒引当金	△416	△387
投資その他の資産合計	148,967	150,180
固定資産合計	317,492	314,612
資産合計	538,646	519,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,382	37,655
短期借入金	57,896	54,637
コマーシャル・ペーパー	4,000	—
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	3,322	2,366
繰延税金負債	24	11
引当金	6,560	6,187
その他	28,445	27,823
流動負債合計	155,631	138,680
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	88,494	84,358
繰延税金負債	5,917	5,474
引当金	2,450	2,746
退職給付に係る負債	23,234	23,196
資産除去債務	3,018	2,857
その他	2,793	2,599
固定負債合計	175,907	171,232
負債合計	331,539	309,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	106,908	105,912
自己株式	△601	△604
株主資本合計	170,994	169,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,613	2,357
繰延ヘッジ損益	△1,032	3,121
為替換算調整勘定	24,719	24,807
退職給付に係る調整累計額	△308	△258
その他の包括利益累計額合計	25,992	30,027
非支配株主持分	10,120	9,998
純資産合計	207,106	210,020
負債純資産合計	538,646	519,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	226,208	231,072
売上原価	188,923	202,075
売上総利益	37,285	28,997
販売費及び一般管理費	22,764	23,496
営業利益	14,521	5,501
営業外収益		
受取利息	89	136
受取配当金	708	797
持分法による投資利益	501	1,028
不動産賃貸料	474	353
その他	357	389
営業外収益合計	2,131	2,704
営業外費用		
支払利息	1,038	883
為替差損	20	654
その他	740	612
営業外費用合計	1,798	2,149
経常利益	14,853	6,056
特別利益		
固定資産売却益	60	48
投資有価証券売却益	—	321
持分変動利益	—	278
関税還付金	—	318
その他	481	318
特別利益合計	541	1,286
特別損失		
固定資産売却損	22	16
固定資産除却損	513	453
環境対策費用	43	505
その他	841	146
特別損失合計	1,420	1,121
税金等調整前四半期純利益	13,975	6,221
法人税、住民税及び事業税	3,195	3,495
法人税等調整額	△221	△164
法人税等合計	2,974	3,330
四半期純利益	11,000	2,890
非支配株主に帰属する四半期純利益	189	290
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,811	2,599

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	11,000	2,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	550	△251
繰延ヘッジ損益	△1,859	3,878
為替換算調整勘定	△163	△1,647
退職給付に係る調整額	74	36
持分法適用会社に対する持分相当額	868	1,886
その他の包括利益合計	△528	3,901
四半期包括利益	10,471	6,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,392	6,634
非支配株主に係る四半期包括利益	79	157

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,975	6,221
減価償却費	12,059	12,333
貸倒引当金の増減額(△は減少)	34	△45
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△208	△324
受取利息及び受取配当金	△797	△933
支払利息	1,038	883
為替差損益(△は益)	108	1,855
持分法による投資損益(△は益)	△501	△1,028
固定資産売却損益(△は益)	△37	△32
固定資産除却損	513	453
売上債権の増減額(△は増加)	△2,285	12,524
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,527	3,263
仕入債務の増減額(△は減少)	△682	△7,288
その他	△3,779	1,036
小計	10,908	28,920
利息及び配当金の受取額	797	928
持分法適用会社からの配当金の受取額	5,241	417
利息の支払額	△1,029	△885
法人税等の支払額	△2,220	△3,846
その他	△954	△112
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,743	25,421
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,511	△11,034
有形固定資産の売却による収入	75	250
無形固定資産の取得による支出	△147	△148
投資有価証券の取得による支出	△29	△3
関係会社の整理による収入	—	606
投資有価証券の売却による収入	0	782
短期貸付金の増減額(△は増加)	103	212
長期貸付けによる支出	△81	△8
長期貸付金の回収による収入	13	20
その他	△660	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,238	△9,326

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,275	△5,322
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△4,500	△4,000
長期借入れによる収入	3,900	2,278
長期借入金の返済による支出	△4,399	△3,616
リース債務の返済による支出	△247	△377
配当金の支払額	△2,284	△3,426
非支配株主への配当金の支払額	△214	△399
その他	△25	50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,495	△14,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	△1,096
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,964	185
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	742	6
現金及び現金同等物の期首残高	15,288	15,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,065	16,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	74,779	56,051	51,239	43,283	225,354	854	226,208
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,977	7,613	10	14,626	25,227	△25,227	—
計	77,757	63,664	51,249	57,909	250,581	△24,372	226,208
セグメント利益	7,783	4,891	1,968	1,194	15,838	△984	14,853

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△809百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	70,558	63,687	55,130	40,460	229,837	1,235	231,072
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,009	6,267	—	11,345	20,623	△20,623	—
計	73,568	69,955	55,130	51,806	250,461	△19,388	231,072
セグメント利益 又は損失(△)	△177	3,287	2,006	1,221	6,339	△282	6,056

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△535百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。